

- 1 天気図の天気記号で、風が吹いてくる方向へ伸ばした棒によって示されるものを何という？
 ① 風向 ② 風力 ③ 雲量 ④ 気圧
- 2 天気図において、気圧が同じ地点を結んだ曲線を何という？
 ① 等高線 ② 等雨量線 ③ 等圧線 ④ 等温線
- 3 日本では夏に、海洋から大陸に向かって吹く季節風を、方位を用いて何という？
 ① 北西 ② 南東 ③ 北東 ④ 南西
- 4 屋外で空気が流れてくる向きを観測するために、風を受けて回転し、その方向を示す装置を何という？
 ① 風速計 ② 雨量計 ③ 湿度計 ④ 風向計
- 5 空気が上空に達して気圧が下がる際、体積が大きくなりながら周囲から熱を奪わず温度が下がる現象を何という？
 ① 収縮 ② 断熱膨張 ③ 熱膨張 ④ 凝結
- 6 天気記号において、風の強さを表すために棒の先につけられる羽の数を何という？
 ① 風向 ② 気温 ③ 雲量 ④ 風力
- 7 空気が1立方メートルあたりに含むことができる最大の水分量を何という？
 ① 飽和水蒸気量 ② 気温 ③ 湿度 ④ 露点
- 8 寒冷前線が通過し、暖かい空気から冷たい空気に入れ替わったとき、気温はどうなる？
 ① 安定 ② 停滞 ③ 低下 ④ 上昇
- 9 空気を冷やしていったときに、空気中の水蒸気が凝結して水滴に変わり始める温度を何という？
 ① 沸点 ② 氷点 ③ 融点 ④ 露点
- 10 風の速さを測定するために、回転するカップを利用して観測する装置を何という？
 ① 自記風向風速計 ② 超音波風速計 ③ 風杯型風速計 ④ プロペラ型風速計
- 11 上空に強い冷たい空気が入り込むことで、大気の状態が不安定になり発生しやすくなる、背の高い雲を何という？
 ① 層雲 ② 積乱雲 ③ 巻雲 ④ 積雲
- 12 寒気が勢力を強めて進み、暖かい空気の下に潜り込むときに形成される前線を何という？
 ① 寒冷前線 ② 停滞前線 ③ 温暖前線 ④ 閉塞前線
- 13 地表付近の気圧の差によって発生し、気圧の高い方から低い方へと空気を押し流す力を何という？
 ① 遠心力 ② 気圧傾度力 ③ コリオリの力 ④ 摩擦力
- 14 天気図において、気圧の数値が等しい地点をなめらかに結んだ曲線を何という？
 ① 等温線 ② 等雨量線 ③ 等圧線 ④ 等高度線
- 15 日本では冬に、大陸から海洋に向かって吹き、日本海側に雪を降らせる季節風を、方位を用いて何という？
 ① 南東 ② 南西 ③ 北東 ④ 北西
- 16 寒冷前線の通過時に、積乱雲が発達したことで発生する激しい雨と雷を伴う現象を何という？
 ① 雷雨 ② 晴天 ③ しとしと雨 ④ 霧雨



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	風向 は、円形の天気記号から伸びる棒として描かれます。		1 風向	☐
2	等圧線 は、気圧が同じ値を示す地点をつないだ線のことです。		3 等圧線	☐
3	日本にとっては 南東 からの風となり、これが太平洋側から湿った空気を運んでくるため、夏の高温多湿な気候に大きく影響します。		2 南東	☐
4	風向計 は、風の力を受けて回転する羽根や矢印を備えた装置です。		4 風向計	☐
5	外部から熱を供給されない環境下で空気が膨張することを 断熱膨張 と呼びます。		2 断熱膨張	☐
6	風力 は、風の強さを0から12までの13段階で区分したものです。		4 風力	☐
7	飽和水蒸気量 は、1立方メートルの空気中に含むことができる水蒸気の最大量です。		1 飽和水蒸気量	☐
8	寒冷前線が通過すると、暖かい空気から急激に冷たい空気が流れ込む状態になります。		3 低下	☐
9	露点 は、空気中の水蒸気が飽和し、凝結し始める温度のことです。		4 露点	☐
10	風杯型風速計 は、風を受けるための複数のカップが軸の周りに配置されています。		3 風杯型風速計	☐
11	積乱雲 は垂直方向に発達する雲で、入道雲とも呼ばれます。		2 積乱雲	☐
12	寒冷前線 が通過する際には、暖気が急激に押し上げられて発達した積乱雲が発生しやすくなります。		1 寒冷前線	☐
13	気圧傾度力 は、気圧の勾配（傾き）に比例して働く力です。		2 気圧傾度力	☐
14	気圧の同じ地点を結んだ曲線を 等圧線 と呼びます。		3 等圧線	☐
15	この大陸上の高気圧から、気圧の低い太平洋側へ向かって 北西 の季節風が吹きます。		4 北西	☐
16	この強制的な上昇により空気が激しく対流し、背の高い積乱雲が急速に発達します。これにより狭い範囲に短時間で激しい雨が降り、雷を伴う 雷雨 が発生します。		1 雷雨	☐

言えなかった用語ノート